

# 特異点からの使者 (The messenger of singularity)

## 第1シナリオ「恐怖！ミイラ男！！」

推奨PL：3人以上 初期グリット3 クエリー2 リトライ2 チャレンジ1or3

近頃、相次いで指名手配犯が変死している。一様にミイラ化しているところから連続殺人事件として捜査が始まっているようだが、警察はいまいち本腰ではない。ヴィランと呼ばれる指名手配犯たちは社会の鼻つまみ者だし、行き過ぎたヒーローがいたとしても不思議ではないからだ。

### 導入 A1 (登場PC①)

川辺のサイクリングロードにて。PCがヴィランを追っかけている。雑魚とはいえ、いつもは挑発的なヴィランの様子がおかしい。「かんべんしてくれー、俺は近頃ワルさしてないんだ！殺さないでくれ！」と言いながら川の中ほどまで走って行き、溺れかける。PLが殺さないことを伝えるとヴィランはすっかりおとなしくなり溺れそうになりながらもあっさりつかまる。話を聞けば「ミイラ男」が怖いというのだ。姿を見たものはいないらしいが、ミイラ死させるところからヴィランの間でそう呼ばれているらしい。

### 導入 B1 (登場PC②)

場所はスーパーの事務所。警察筋からヴィランが現れたと聞きつけ急行すると、そこには万引きで捕まっている見るからに屈強なヴィランと困惑する店長らしき人物が。ヴィランは店の真ん中で「俺は万引き犯だ捕まえろ」と大騒ぎしたらしい。話を聞くとミイラ男というヒーローなのか怪人なのか分からないヤツが怖いのでなんとか刑務所に入りたいということらしい。

### 導入 C1 (登場PC③～)

港の倉庫の中に潜伏する脱獄囚の情報をいち早くつかんだPCたちが倉庫を取り囲んだ。突入すると、応戦がなく倉庫の物陰で震えているヴィランを発見。泣きそうな顔で「なんだお前たちかよ。」と安堵するが、刑務所に戻るのだけはいやだと懇願する。ヴィランは投獄前にミイラ男に仲間が殺されるのを目撃したことがあり、そのミイラ男が難なく刑務所に侵入するのを見たという。「死ぬのは怖くないが、あんな死に方だけはごめんだ。捕まる位なら自爆する。」と爆弾を体に巻きつけている。PLは自爆をとめても止めなくてもよい。

### 展開 A2 (登場PC①②) クエリー

PCの①と②は警察署で各々がヴィランを連行して簡単な事情聴取を受けた後に顔を合わす。そうしている間にも、次々とヴィランが自首してくる。単独行動の小者から、中には有名なヴィランチームのコスチュームを着た者まで。そんな中、忙しい合間を縫って1人の警官が「まさかヒーローの方まで自首しに来たんじゃないですよね？」と困り顔で話しかけてくる。聞けば「ミイラ死すると天国にも地獄にもいけずに永遠にミイラの中に魂が囚われる。最悪だ！」と噂されているらしい。

エンドチェック

ミイラ死に関する噂を聞いた PC①と②は知り合いになった (既知でもよい)

### 展開 C2 (登場PC③～) クエリー

導入C1でヴィランを生存させた場合。ヴィランを引き取った警察から連絡が入る。警察は刑務所へ外部の人間が侵入した事実が秘匿されていないか捜査を始めている。捕まったヴィランが話をしたいと言っているようだ。拘置所の面会室で爆弾を抱いていたヴィランに面会すると「ミイラ男はミイラ男なんて姿ではなかった、青いスーツに真っ赤なマントで一見ヒーローに見えるが、顔はバツェンだった」と証言を得る。この証言を得た場合、クエリーと別にグリットを1獲得。

エンドチェック

拘置所に面会に行った (1) ミイラ男の容姿について (1)

### 展開 C3 (登場PC③～) クエリー

導入C1でヴィランを爆死させた場合。ヴィランが自爆した倉庫の中の品物の損失額が4億円を超えることをニュース

で知る、経営者の自殺未遂のニュースを聞くことになる。メディアは事件に関わったヒーローを探しているらしい。PCはメディアの前に姿を現してもよい。真摯に答えて倉庫の持ち主に同情的なコメントをした場合、倉庫の被害に保険金が支払われ倉庫の持ち主は後日回復する。メディアに姿を表さない場合、ニュースの画面の中から「爆死事件と自殺未遂事件に責任は感じておられますか？」との質問に対して、PCは電話やメールで回答することを選んでよい。真摯に答えて倉庫の持ち主に同情的なコメントをした場合、倉庫の被害に保険金が支払われ倉庫の持ち主は後日回復する。回答を全て回避した場合、倉庫の持ち主は病院を抜け出して自殺を達する。シーンに登場したPC全員のクレジットは10未満の場合0に、10以上の場合-10される。

エンドチェック  倉庫爆破事件の結末を知った

**チャレンジイベント (参加者自由)**

ニュースではヴィランでゴった返す刑務所が報道され、刑務所のキャパシティの300%ほどの受刑者が収容されており、大人しくしているが、暴動が起きるととめられない状況だと報道されている。

チャレンジ (C3 を経ている場合のみ)
爆死したヴィランの知人発見 <b>知覚 or 作戦</b> に成功すると爆死したヴィランと親しかった受刑者を発見する。 ミイラ男の容姿の情報 <b>心理 or 交渉</b> に成功するとミイラ男の容姿を伝聞で知ることが出来る。

刑務所内の防犯カメラにPCが自発的に気付いた場合グリット1獲得。自発的に気付かなさそうな場合、全員「知覚」or「科学」でロールし、成功したら防犯カメラに注意を向けさせる。

チャレンジ
防犯カメラ (ミイラ男の容姿に辿り着いた場合) <b>科学+30%or 知覚 or 操縦</b> で成功すると、防犯カメラの1週間前の映像に廊下を歩く「ミイラ男」を発見。独房を覗き込んだ後、瞬間移動しているように見える。

**決戦「未来人バスカ」参照先ルールブック P191 (登場PC全員)**

防犯カメラを見ている場合、「お前らはその辺のヒーロー気取りのボンクラとは、一味違うようなのです。」と急に声をかけられる。少々会話することはできるが、「まあ少々場所は悪いですが、出会ったからには消えていただくのです。」と戦闘を挑んでくる。GMはPCの人数+1体のモブを追加しても良い。

この戦闘では、3ラウンドが終わった段階で新たにもう1体未来人バスカが登場する。「過去の私とお前らはそんなことをしている場合ではないのです！」と戦闘を止める。もしそれまでに倒した場合でも、倒した後に未来人バスカがもう1体登場する。どのみち、新たな未来人バスカによって戦闘は解消される。「ここはまずいのです。場所を指定してください。そこで落ち合って話がしたいのです。」と妙に謙虚にお願いされる。

**余韻**

2体の未来人バスカと指定された場所で落ち合うと、傷ついていないほうが語りだした。「もしご存知いただけていると光栄だが私はお前らよりもはるか未来に生まれ、未来と過去を行き来しているのです。その未来が大変なことになっているのです。」と語りかける。その頃、警察発表から「ミイラ化で変死したヒーローが現れ始めた」ことが報道される。



## 第2シナリオ「バスカのジレンマ」

推奨PL：3人以上 初期グリット3 クエリー2 リトライ2 チャレンジ3

## 導入シナリオ（登場PC全員）

未来人バスカはポケットに手を突っ込んで立っていた。「過去を変えると未来が変わるものです。これはお前らには分からないかもしれませんが、ひどく愉快なものです。ところが、いつからかある程度先の未来にいけなくなりましたのです。私の能力に衰えが…とも考えたのですが、時空がそこで断裂し始めているのか、一向に分からないのです。そして、大変なことに気付いたのです。」そう言ってポケットから手を引き抜くと、片手が消え始めている。「古いフィルムでこうした効果が使われているのをみたことがあります。まさか本当にこんな事が起こりえるとは驚きです。私の出生の事実すら消えようとしているのです。…私は私の生まれた時間はおろかそのだいぶ手前の時代にすらもう辿り着けなくなっているのです。そこで未来は酷く不安定になっているということです。」

傷ついたバスカも喋り始めた。「こっちは私にとっての未来の姿です。ですから、こちらの私は私にとっての過去の姿です。私はその怪異について調べるために刑務所を訪れたのです。しかし、未来の私から話を聞いて確信したのです。もう私の力ではどうにもならないところまで来ていると…そういうことでいいのですか？未来の私。」

頷くバスカにとっての未来のバスカ。「しかし、このまま放っておいたら私たちは同時に消えることになります。全ての未来の可能性が時空間の破断や、あるいはもっとひどい宇宙の消失で収束することが確定した瞬間にバスカという存在は消えさせる…この宇宙になかったことになるのです。」過去のバスカが口を挟む「しかし、この話をこいつらに言うことは、こいつらに助力を仰いでしまうということですか？何たる屈辱ですか？」。未来のバスカが答える「少しだけ若い兄弟、私も正義ヅラしたケチ臭い愚かな原始人らに助けを求めるぐらいなら死を選びたいという考えは変わってないのです。ただし、生まれていなければ死も選べない現状は耐え難いのです。そこには誇りも屈辱もないのです。善悪すらもないのです。」

そう言ってバスカは情報を持っていそうなのは「比較的物知りのヴィラン」であるマダム・ヘルとザ・プロフェッサーだと指摘し「歴史的災害が起きていない未来を探して見るのです。」と言い残してタイムスリップする。

## 発展シナリオ（登場PC自由）クエリーイベント

マダム・ヘルを探してメイヘムのアジトを探すヒーローたち。メイヘムはザ・イミテーターを失い失意と内部抗争に吞まれていた。マダム・ヘルはPC達を見つけ出して向こうからアクセスしてくる。現れたのは車椅子に乗った老婆だった。マダム・ヘルはバスカの伝言を聞くと忌々しそうに「あるいはレッドバックウィドウという、昔、ヒーローとヴィランを渡り歩いた女性なら未来を占えるかもしれない」と語る。マダム・ヘルはミイラ男と交戦して生き残った稀有な存在なので、ミイラ男の能力について尋ねることが出来る。GMはPCに「レッドバックウィドウの名前を手分けしているほかの仲間に伝えるべきだ」と示唆する。

## エンドチェック

- メイヘムの崩壊を目の当たりにする ミイラ男のパワーが老化能力であることを知る 仲間に情報提供をする

## 発展シナリオ（マダム・ヘルを探したPC以外）クエリーイベント

ザ・プロデューサーを探してザ・カーニバルの本拠地を探す。見つけたときには既にその全員がミイラ化していた。ザ・プロデューサーの遺体をあさると、仕立てはよいが使い古した手帳が出てきて、その中に「レッドバックウィドウ」の連絡先が発見できる。

## エンドチェック

- ザ・カーニバルの全滅を目の当たりにする レッドバックウィドウの連絡先を入手する



## チャレンジ

合流してレッドバックウィドウを探す。その過程でフォーセイクンファクトリーは雲散霧消、百鬼夜会は行方不明、地獄兵团も全滅したのではないかという噂が流れる。刑務所は赤いマントの怪人の襲撃を受け、刑務官もろともほとんどがミイラ死したとニュースが。ヒーローも次々に絶命している。世間はパニックに陥っている。そんな中、レッドバックウィドウの連絡先に電話するが繋がらない。

チャレンジ
レッドバックウィドウの電話番号から住所を調べる <b>交渉</b> で成功すると住所が分かる。この判定では <b>クレジットを1消費するごとに交渉を10%上げて判定</b> ができる。

住所はもぬけの殻だった。しかし、ついさっきまで人がいた気配を感じる。今なら追いかければ間に合うかもしれない。

チャレンジ
レッドバックウィドウを追い <b>運動（操縦）</b> 乗り物を持っていれば操縦を使って追跡することも出来る。

レッドバックウィドウは美しい中年の女性だった。辛うじて平穏を保っている高級なホテルのラウンジにいた。「自分が探されている」ことは分かっていたが、あの場所に危険が迫っていたため比較的安全な場所に逃げたのだという。そしてPC達に強力なテレパシストの助けが必要だと語る。

チャレンジ
テレパシストを探す方法とは <b>心理 or 科学</b> で成功するとPC達は「強力なテレパシストならば必死で心の中で呼びかければ応えてくれるだろう」との方法に達する。この方法を判定を経ずに思いついたPLがいた場合、 <b>チャレンジを経ずにグリットを与えてよい。</b>

PC達が無言で呼びかけを始めるとすぐにホテルマンが「お客様にお電話です」と電話の子機を持ってくる。電話の相手は名乗らず「もし、お互いに生き延びたら出会うこともあるだろう。そのときは名乗ろう。」と言う。電話の相手はゆっくりと言葉を選ぶように「ミイラ男と呼ばれている存在の名前はエクストラクター、時間を操るパワーを持っている。あえて彼と呼ぶが、彼は宇宙の破壊が起きた瞬間からこの時代にやってきて、宇宙の破壊のエネルギーの一部を吸収して時間を操るパワーを得た。宇宙の破壊は本来食い止められるはずだったがザ・スローターの召還が宇宙の因果律に狂いを生じさせ、彼らが『ディセミネイター』と呼ぶ宇宙の破壊を食い止めるパワーに繋がる遺伝子が地球から失われる結末に地球の未来は収束し続けている。エクストラクターは『ディセミネイター』を害する可能性のあるあらゆる存在を排除することで何とか宇宙の崩壊を食い止めようとしている。現状、宇宙の存続にとってエクストラクターの存在は必然であって、消滅はすなわち遠いか近いかにずれかの将来、宇宙が消失することを意味する、彼の生存は宇宙の存続の可能性が残っていることを示唆している。やばいぞ、近いぞ！」


電話は一方向的に切られた。知覚判定に成功したPCはその通話が内線通話であったことに気付く。レッドバックウィドウは目を瞑ったまま「戦えば必ず負ける」と言うのと黙り込んだ。

## 決戦

青い全身に赤のマントを羽織ったエクストラクターが姿を現す。胸の真ん中に平たいひし形の中に黒い円が描かれた目のようなマークを見ることが出来る。真っ青なマスクに黒い×の風貌であるため視線は分からないが、暫くレッドバックウィドウを見ると何もせずにPC達の方を振り返る。戦場へ移る。エクストラクターは時間を操るため、プレイヤーたちが決めた行動に対して先んじて対処するように行動を組み立てる。したがって行動順が来ていなくてもPC達はラウンド開始時に何をするのか宣言する必要がある。ラウンド中、単純な回復など攻撃的な行動を何もしない事を宣言したプレイヤーにはエクストラクターは何もしない。戦場に残ったのが交戦しないプレイヤーだけになった場合、エクストラクターは戦闘をやめプレイヤーたちが話すのを聞こうとする。エクストラクターは基本的にパワー「エクストラクター」で相手の寿命を削りきろうとしてくるが、必要に応じて通常の攻撃をする場合がある。PCはエクストラクターに様々な質問をしたくなるだろう。その際の応答は下の余韻を参考にして欲しい。

※エクストラクター相手には勝利は存在しない。不戦を選ぶことによって戦場から脱出することが最適解となる。

※GMは「こんなどうすればいいの？」という問いが出た際にPLから出たものか、PCから出たものかを慎重に確認すべきである。PCからその問いが来た場合、余韻を参考に戦場を解消しても良いかもしれない。

<p>オーバーデッドライン級ヴィラン「エクストラクター」</p> <p>能力値全て 50%</p> <p>エナジー ライフ 50 サニティ 50 クレジット 50</p> <p>移動適正 地上 飛行 宇宙</p> <p>※妹にタブレットあげちゃったからイラストいまいちでも堪忍してください（言い訳）</p>	
---	--

パワー

・メタ・ビーイング

<p>属性：強化 判定：- タイミング：特殊 射程：- 目標：自身 代償：-</p>
<p>行動順ロールを行った直後に使用できる。行動順ロールの値を 0.5 にする。このパワーは基本的に 1 回の戦闘イベントに 1 回しか使えないが、戦闘中に新しいユニットが戦闘に参入すると再び使用できるようになる。</p>
<p>エクストラクターの存在を正確に認識することは人間には難しい。彼は未来から来て、なお且つ、常に予めそこにいたのだ。</p>

・バランス・オブ・タイム

<p>属性：移動・攻撃・回復 判定：- タイミング：行動 射程：0 目標：1 体 代償：3 ターン</p>
<p>隠密を除く任意のエリアに瞬間移動し目標のターンを+10 し、自身のターンを-5 する。このパワーによって自身のターンが 0 未満になることはない。またこのパワーは対象のターンが 21 を越えていても使うことができる。</p>
<p>エクストラクターは物理的な攻撃を好まない。ただ相手の存在価値を奪うのだ。</p>

・ポッシビリティ

<p>属性：特殊 判定：- タイミング：特殊 射程：- 目標：1 体 代償：-20 ターン (+20 ターンではない)</p>
<p>エクストラクターが攻撃を受けた場合、攻撃を受けていない可能性から導き出される無傷のエクストラクターを戦場に追加することが出来る。この能力でエクストラクターのターンは 0 未満にはならない。この能力は攻撃を受けた瞬間に効果を発揮し、攻撃を受けた後に発生するデスチャートを含むあらゆる判定に先んじる。エクストラクターは戦闘終了後に 1 体に戻るが、その場合、最もダメージを受けていないエクストラクターに収束する。</p>
<p>エクストラクターといえまったく攻撃を受けないことはないだろう。ただ、エクストラクターが攻撃を受ける可能性があるということは、攻撃を受けない可能性も存在するということであり、それは攻撃を受けた瞬間に必然となる。</p>

・エクストラクター

<p>属性：攻撃 判定：意思+40% タイミング：行動 射程：3 目標：ターン 21 以上の全キャラクターから任意（何体でも） 代償：ターン 10</p>
<p>判定を行った出目と同じだけ対象を加齢させる。このパワーによって寿命が尽きたキャラクターはデスチャートを経ずに絶命し、このパワーは対象のキャラクターの寿命を超え、対象が絶命した場合でもさらに加齢をもたらし、そうした場合、対象はミイラ化する。対象が寿命を持たない存在である場合、エクストラクターは対象を戦場からつまみ出し、ビッグバン以前か、または宇宙が崩壊したあとの未来へ放逐する。そして、エクストラクターは戦場に帰ってくる。</p>
<p>エクストラクターは「摘出する」「選別する」といった意味合いの言葉だ。この能力の初撃を耐える者は少なくない。2 発目ですら耐える者もいる。しかし、そこに大した意味などない。</p>

## 余韻

エクストラクターは「お前たちの中にディセミネイターは無い。」と語る。PC達はひとしきりエクストラクターに質問が出来る。

### 質問と答えのサンプル

「何年後から来たのか？」→「未決定。」

「ディセミネイターとは何か？」→「宇宙の崩壊を結果的に止めるパワー。」

「宇宙が崩壊しない未来もあるのではないか？」→「リポート後、ディセミネイターの力無しに宇宙の崩壊を逃れる可能性は『今』も0に向かって収束中。宇宙が崩壊しない未来は、リポートしなかった時系列は我々には関係ない。」

「お前は誰だ？」→「無意味な質問。宇宙の崩壊に立ち会った全ての存在が私になりうる可能性を持っていて、それは未確定。」

「死後に魂が囚われる話は本当か？」→「無意味。」

それ以外の質問にはおよそエクストラクターは答えを持っておらず、「未確定」「未決定」のようなことを答える。エクストラクターは理解者と協力者を求めているようだ。

「我々はどうすればいいんだ？」→「今、力を持たぬ人間を強い力から守れ。ディセミネイターはその中に芽吹く。」

GMはPC達にエクストラクターの要請を了承するかきちんと確認する。PC達がその要請を理解すると、エクストラクターは掻き消え、ホテルの入り口から全身が白に金色の×印の顔をしたエクストラクターが入ってくる。胸のマークも金色になり、マントはなくなっている。

「宇宙は存続した。ディセミネイターのパワーは我々の宇宙を満たし、宇宙のほころびは修復され続ける。」

そう言うと再びホテルの外へ歩いて出て行こうとする。場所はホテルのままだが気付くと日付はエクストラクター事件前に戻っている。白いエクストラクターが雑踏の中に消えると、いつの間にか一緒にいてその光景を見届けた未来人バスカが「帰ってこれたのです！これで安心して貴様らをつぶすことが出来るのです！」と言って邪悪な笑みを浮かべているが、即座に薄紫の糸に絡めとられる。「お前はまったく反省していないな！」そう罵られながらレッドバックウィドウに連行される未来人バスカを眺める。シナリオは終わる。

## 解説

デッドラインヒーローズのオフィシャルでは、「スローター」という過去の敵が紹介はされていますが、そうした世界の存亡に関わる強大なヴィランのデータは紹介されていません。マーブルコミックスの作品にはしばしばギャラクタスのような「コズミック級」と言う表現で強大な力を持ったヴィランないしヒーローが出現し、作品世界の登場人物を振り回します。ヒーローがレベルを上げた程度ではとても太刀打ちできない危険な存在としてデザインされたのがエクストラクターです。リプレイでは超人種と人類の軋轢が描かれていますが、それが加速したことで本来宇宙を救うはずだったパワー「ディセミネイター」の遺伝子を摘み取ってしまい、宇宙の崩壊が阻止できなくなった、宇宙が崩壊したエネルギーから生まれて過去の歴史を改変しに来たのがエクストラクターです。「ディセミネイター」の遺伝子はシナリオの時間の中では、非力な人類の中で眠っている為、エクストラクターは直接的、間接的に人類を殺戮するヴィランやヒーローを駆逐すること、また「ディセミネイター」の遺伝子を発見し保護する事を使命としています。シナリオの目的を達成した場合、PC達の努力のおかげで「宇宙存続の可能性0」の危機は脱しましたが、エクストラクターとヒーローたちの利害が一致し続ける保障があるわけではありません。未来の宇宙を守るために過去の人間を非常に殺戮するのがエクストラクターの本質です。今回のシナリオではどうやらエクストラクターに殺された人間が死ぬ前の時間に戻ったようですが、それは後の殺戮を意味している可能性は否めません。正義のための殺戮を良しとするエクストラクターはやはりヴィランでしょう。エクストラクターのキャラクターデータを少し解説しますと、エクストラクターはデッドラインヒーローズの戦闘システムを逆手に取ったパワーを持っています。全体的に「ボクの考えた最強のヒーロー」感は否めません。このエクストラクターを倒すためには「何らかの方法でパワーを封じる」もしくは「エクストラクターのパワーにカウンターが打てるさらに特殊なパワー対峙する」ことが必要になるでしょう。これらはどちらもシナリオの切り口になりえるのではないかと考えています。

ディセミネイターについてはあまり細かく設定はしていませんが、日本語にすると「播種者」と言った意味合いで、滅び行く宇宙に自己修復する能力を付与する能力であることまでは何となく決めています。1人が持つパワーなのか、複数人が関わるパワーなのか、はたまた超自然の存在が関わるのか不明ですが、エクストラクターも含めてこれら強大すぎるパワーを持つヒーローないしヴィランを「オーバーデッドライン級」と試しに呼んでみました。その観点でいくと、既に作られたオリジナルヴィランの中には「オーバーデッドライン級」が混じっているようです。この単語が流行るといいな。